

# 新潟県での 副反応疑い症状の診療システムに関する 取り組み (NIIGATA STUDY)



新潟大学医歯学総合病院 リハビリテーション科  
木村慎二

## 副反応疑い症状の診療システムの整備 (NIIGATA STUDY\*)

### 1. 地域の副反応疑い症状診療支援システムの構築

- 新潟大学病院が拠点となり副反応疑い症状の診療にあたる診療体制モデルを確立した。

新潟市医師会、新潟市産婦人科医会・内科医会・小児科医会の協力を得て、  
HPVワクチン全接種者を対象に即時型・遅延型副反応疑い症状を調査する準備を整えた。

### 2. ワクチン新規接種者の副反応疑い症状調査

- (1) ワクチン接種状況(種類、接種回数など)
- (2) 即時性副反応疑い症状の有無とその詳細
- (3) 遅延性副反応疑い症状の有無とその詳細

# 新潟県におけるHPVワクチンの副反応疑い症状診療システム

地域連携室へ副反応疑い症状発生の連絡(TEL or FAX)

医事課対応：症例シート<sup>1)</sup>の記入



婦人科担当医へ連絡(TEL or e-mail)

症例レポート<sup>2)</sup>を作成(情報共有)



心理社会的要因が  
疑われる症例: 小児  
心理専門医、麻酔科、  
精神科等で検討会

痛みの場合

Dr木村診察

痛み以外の場合

婦人科、小児科、麻酔科で対応

治療(症例によって  
他科と併診)

牛田班質問票を作成(情報共有)

予後レポート<sup>3)</sup>を作成(情報共有)

1) 氏名、生年月日、住所、電話番号、副反応疑い症状の概要

2) ワクチン接種と副反応疑い症状の詳細

3) 検査・治療内容、診断、今後の方針など

## HPV ワクチンの副反応疑い症状に関する調査

ワクチンの接種が広く行われるようになり次第スタート予定

HPVワクチン被接種者全員  
(文書による説明)



接種日に即時性副反応疑い症状調査用紙の記入  
⇒新潟大学へ郵送



4週後に遅延性副反応疑い症状調査用紙の記入  
⇒新潟大学へ郵送



<重篤な副反応疑い症状発生時>  
新潟大学産婦人科へ連絡  
大学専門医師(麻酔科・小児科・リハビリ科)に紹介

# まとめ

- 1) 新潟県では新潟大学医歯学総合病院の産婦人科が窓口となり、複数の診療科(リハ科、小児科、麻酔科)が連携して診療システムを構築している
- 2) 現在まで、5例の副反応疑い報告があったが、2例はワクチン接種以外の要因が考えられた
- 3) 報告のあった症例のうち、全身の関節痛を発症した1例は、2年間で不安解消のための教育と廃用症候群に対するリハ診療を行い、リハ科初診後3年で、看護師として社会生活を問題なく送っている

## 副反応疑い報告として報告があった症例の概要

症例	年齢	受診日	症状	発現時期	初診までの期間	担当科	診断	因果関係
1	20	H26/7	全身痛	サーバリックス② 20日後	36ヶ月	リハビリ科	—	不明
2	19	H26/7	半身の痺れ	サーバリックス① 14日後	42ヶ月	リハビリ科	アーノルド キアリ奇形	なし
3	19	H26/12	周期的発熱	サーバリックス① 7日後	41ヶ月	産婦人科	—	不明
4	17	H27/1	痙攣?	サーバリックス③ 後	36ヶ月	産婦人科	—	なし
5	16	H27/4	偏頭痛	サーバリックス② 数日後	36ヶ月	小児科	非器質性疼痛	不明